

統一地方選挙をたたかい終つて

住民のくら暮らし・平和を守り、岸田政権への審判下されたか

県議選 共産党6議席と推薦1に前進



統一地方選挙は、前半の4月9日、後半の23日、住民のくらし・いのち・平和を守り、岸田政権へ痛打をめざしてたたかわれました。長野県議選で共産党は6議席を回復、交渉会派・代表質問権を確立する前進を勝ち取りました。しかし、全国的には衆参補選を含め岸田政権へ打撃を与える成果を勝ち取るにはいたりませんでした。

不_レ

長野県版
第506

2023年4月15日

治安維持法與同盟

長野県本部

〒380-8790

市県町 593

連絡 竹村利幸

TEL : 036-226-0854

FAX 026 266 0064

FAX - 020 200 0804

3589 筆に到達

—5月16日、国会請願に向けた—

署名、最後のもうひと踏ん張りを!!

県本部会長

遠山
茂治

国内外の政治情勢、地球環境等々それなさんの活動、本当にご苦労様です。そんな中で、国賠同盟独自の国会請願が、50回目の節目を数え、請願期日まで後1か月足らずに迫りました。長野県本部の署名集約は、3月末時点で8589筆となりました。この数値は昨年の7455筆を超えていきますが、総会で建てた目標・2万筆の43%です。

諸情勢の中で各種署名が増えていること。また、国賠署名が毎年同じものの繰り返しで、いくら集めても効果としてすぐ実現しないことがあります。しかし、署名を集めることが国賠同盟の对外活動として最も基本的な活動です。支部役員の方が、活動団体に依頼し、それが署名数の大半を占めていることは、現在でも同じです。そのため、会員個々として、自分、家族、友人などへの署名活動が、ややもすると手薄となっています。先月「不屈」配布時に署名用紙を同封しましたが、反応がまだ表れているとは言えません。各支部、各会員にはみなそれぞれの事情もあり、すべて一律にいくことは困難です。それにしても、3月末で目標の50%に達していない現状は見過ごすことはできません。5月10日の県常任理事会で国会への署名のまとめをしますが、最後のひと踏ん張りを、ここにお願いする次第です。どうかよろしくお願ひいたします。

長野山宣会が第51回の総会

今、山宣を学ぶ意義＝危険な戦争準備を転換させる

長野山宣会は、4月23日別所温泉センターで第51回総会を開催し、会員・関係者20名が参加。来賓として4月9日の県会議員選挙で当選した共産党県議の高村京子さんがあいさつ、また、東京山宣会会长の永島民男さんが連帯のあいさつをおこないました。

▼運動方針は、1年間の活動を振り返って、昨年は会結成50年の節目の年で、50周年記念の碑前祭を行い、記念講演は共産党副委員長の市田忠義さんが行つたことなどを中心と報告されました。

▼活動方針では、山宣のたたかいと生涯に学び、今は生かすとりくみを重視し、平和と民主主義、くらしを守るとりくみをすすめる。そのためにも『治安維持法と山宣』の冊子の普及に努め、会員を増やし、山宣の活動と信州の関係を一般市民の中にも広げることなどを確認しました。

▼討論では、連帯する国賠同盟から国会請願署名や映画「千代子」への協力のお願い、県議選での政策と情勢について等々語られました。



《山宣会総会会場》

別所温泉街のフィールドワークを企画

別所温泉はいい湯で、何回となく訪れ、また北向き観音をはじめ名所・旧跡を訪れた人でも、専門的な解説を聞いたことはない、という声が聞かれます。山宣会は今回の総会を機会に、別所温泉フィールドワークを企画し、十数名が参加しました。

柏屋別荘の当主だった斎藤善哉さんの案内で、安楽寺、八角三重塔、常楽寺、山宣・タカクラテル・斎藤房雄碑、タカクラ・テル旧宅、北向観音等々を散策しました。裏話を含めた斎藤さんの豊富な知識と豊かな感性による解説で別所温泉が一段と魅力ある温泉街となるフィールドワークとなりました。

→常楽寺への参道



山宣・別所温泉の魅力が倍増

山宣会

冊子『治安維持法と別所温泉の山宣碑』を刊行



領価500円

長野山宣会は昨年10月、パンフレット『治安維持法と信州・別所温泉の山宣碑』を刊行しました。藤原超さんの「山宣碑の由来、命がけの保存と再建」に関する論文、故平林名誉会長の山宣と別所温泉への思いがほとばしる「山宣記念碑」の特別寄稿、そして新会長

中澤勘介さんの心なごむ「別所温泉街名所案内」からなっています。希望者は山宣会又は同盟事務局へ

茅野・原・富士見支部が総会

役員体制と活動方針を確立

3月29日

年度末を目前に、何としても支部体制を確立しようと3月29日、茅野市・富士見町・原村在住の会員7名が茅野市ゆいワーカーに集まり、支部総会が開かれ、県本部から会長と事務局長が参加しました。

諒訪地域は、伊藤千代子生誕の地として、また「2・4事件」の中心校・地永明小学校の所在地であり、戦後早くから林百郎国會議員を選出するなど、進歩と革新の伝統のある地域です。そうした伝統を受け継ぎ国賠同盟諒訪支部は全県のなかでも先進的な地域でした。

しかし一方で、集団的運営体制という点で弱さがあり、何名かの役員の死去で、支部運営が困難に。上原佳月さん（県常任理事）が高齢で勇退するにあたり、諒訪支部を諒訪市・岡谷市・下諒訪町の3市町と湖周地域と茅野・原・富士見3市町村（茅南地域）に3分割することが提起されました。茅南地域では9月5日、支部結成総会で新支部を立ち上げ、年内にもう一度集まつて協議することになりました。今回の総会に至りました。

総会では3名の顧問と、9名の支部役員体制を確立し、活動方針など具体化をはかりました。

遠山会長からは「自分が支部長を兼ねている北部支部は、3地域から支部役員がそれぞれ複数選出され、支部役員会を毎月定例で開催。支部ニュース等で支部全会員と連絡を取り合って活動している」と、支部の集団的運営や具体的活動にふれた激励のあいさつが行われました。

対県要請

陸上自衛隊松本駐屯地祭りの中止

憲法9条を守る県連絡会・県護憲連合・県労連・県労組会議・県教組の5団体は4月19日、長野県知事・県教育長に対し、

「松本駐屯地祭り、オスプレイの低空飛行訓練、武力攻撃事態想定の国民保護訓練の中止」を申し入れました。（写真参照）。



岸田政権は、ウクライナ戦争や北朝鮮の弾道ミサイル実験、中国の軍拡・軍事訓練を最大限に利用して危機感を煽り、敵基地攻撃の大軍拡、大増税を目論む中、それに迎合する自衛隊祭り等の中止を、県危機管理部長の要請しました。ましてや宮古島海域での自衛隊ヘリの墜落という不幸な事態の中で、「祭り」とは何事かと、厳しく迫りましたが、県の主催ではないとの釈明の終始しました。

県内外の動き

憲法9条を守る県連絡会が全県代表者会

憲法9条を守る県連絡会は、4月9日松本市で、団体・地域代表者会を開きました。オンライン参加を含め20数名が参加し、15名が討論・交流会で発言しました。

岸田政権の危機意識に扇動され、軍拡への世論の流れがある中、それをどう打ち破るか、学習と宣伝の重要性が強調され、また、ミサイル配備の沖縄こそ大軍拡・敵基地攻撃の最先端。沖縄との交流の重要性も何人から提起されました。「6・11県民のつどい」の成功へ。力を尽くすことを確認しあいました

時局評論

▼ 学術会議と政府との、今日の確執の発端は、2020年9月の菅首相の6人の任命拒否にあります。拒否理由について、当事者の6名を始め学術会議総会等々の要請に対し一切口をつぐんで語ろうとしません。推測するに、6名は政府の法案等に反対し、政府の意に添わない人物だということです。

▼ しかも、こともあるうに確執の要因が、学術会議の組織とあり方にありますと、事の本質をすり替え、学術会議法の「改正」に踏み出しました。そして、学術会議側とは相談することなく提示された改正案の重大な問題点は、第3者による選考諮問委員会を新設し、その意見を尊重するとなっています。諮問委員は、首相が議長で財界の有力者などで構成する総合科学技術・イノベーション会議と相談するというものです。明らかな政府の学術会議への介入です。これに対し、4月18日の学術会議総会が、政府に対し「勧告」という最も厳しい意思表示で改正案撤回を求めたことは当然です。歴代5人の会長声明や日本のノーベル賞受賞の8名、さらに海外の受賞者61名が学術会議を支持する共同声明を出しています。

▼ 6名の任命拒否や学術会議法の改悪の岸田政権の真意は、学術会議を権力的に支配し、学者・研究者と科学・技術を軍事的に利用することです。戦争する国造りの科学版といえます。

▼ 自公政権は独裁政治をめざしあらゆる分野で閣議決定が幅を利かせていました。官邸内に人事局をつくり、高級官僚の任命支配権を握り、集団的自衛権・安保3文書問題など国会の権限をないがしろにする閣議決定が横行、政府決定を教科書に書き込ませ教育を支配するなどに、国民の怒り心頭です。

学術会議総会が法改正撤回を勧告

岸田政権の狙い 戰争に科学・学者の動員

編集部

新たな戦前にさせない！ 守ろう！平和といのちとくらし 6・11長野県民の集い

▼ と き	6月11日(日)
▼ と こ ろ	長野市・セントラルスクエア
▼ 内 容	
13:30	オープニング
14:00	集会
15:00	パレード
▼ メインゲスト（ミニ講演）	
愛敬浩二さん（早稲田大学教授・憲法学）	



愛敬さんは、信大教育学部の教授を歴任。11日10時30分から、高校会館で憲法の学習講演会が行われます。ご参加自由です。

主催 「県民の集い」実行委員会
連絡・憲法会議 (026-234-2216)

講師・渡辺治さん（一橋大学名誉教授）

1 と き	4月30日(日)
14 時～	16時30分
2 と こ ろ	女性会館
主 催	かした平和外交で、 大軍拡・大増税を 阻止しよう！

講師・東森英雄さん（安保破棄事務局長）

1 日 時	5月13日(土)
14 時50分～	16時30分
2 場 所	高校会館 (中会議室)
主 催	敵基地攻撃能力の保 有、何をもたらすか ・信州の教育と 自治研究所

講演会一題の紹介

（どなたでも参加できます）